



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

機構ニュース

Vol.167 2017 April

今月の記事

Top News

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の 課程修了者への学位授与関係

○21人に博士の学位を授与 一大学院博士課程
相当の課程修了者ー1

○平成28年度学位記伝達式を開催 一防衛医
科大学校医学教育部医学研究科を修了した者ー
.....1

○901人に学士の学位を授与 一学部相当の課
程修了者ー2

○29人に修士の学位を授与 一大学院修士課
程相当の課程修了者ー3

○2人に博士の学位を授与 一大学院博士課
程相当の課程修了者ー3

○卒業式典で学位記を授与3

質保証連携

国内外の質保証機関等との連携

○ASEAN大学連合 質保証会議2017に出席
.....4

○台湾の質保証機関HEEACTとスタッフ交流
プログラムを実施5

○香港の質保証機関HKCAAVQとスタッフ交
流プログラムを実施6

○大学連携ワークショップ「内部質保証と3つ
のポリシー」～認証評価における優れた取組か
ら学ぶ～を開催7

評価事業

大学機関別認証評価について

○平成28年度実施大学機関別認証評価の評価
結果について9

○平成28年度実施大学機関別選択評価の評価
結果について9

高等専門学校機関別認証評価について

○平成28年度実施高等専門学校機関別認証評
価の評価結果について11

○平成28年度実施選択的評価事項に係る評価
の評価結果について11

機構の窓

○会議の開催状況13

主要行事日程

○Schedule（4月～6月）15

TOP NEWS

○21 人に博士の学位を授与 ー大学院博士課程相当の課程修了者ー

平成28年9月に防衛医科大学校医学教育部医学研究科を修了した博士の学位授与申請者等に対して、医学・薬学専門委員会において、論文審査及び口頭試問が行われました。

この審査結果に基づき、平成29年2月15日(水)及び平成29年3月10日(金)開催の学位審査会において最終審査が行われ、21人に対して学位を授与することを決定しました。

<博士の学位授与者数>

認定課程名	専攻分野	授与者数(人)
防衛医科大学校医学教育部医学研究科	医学	21

○平成28年度学位記伝達式を開催 ー防衛医科大学校医学教育部医学研究科を修了した者ー

当機構は、防衛医科大学校の大学院に相当する教育課程を修了した者のうち、当機構における審査(学位論文及び口頭試問)を受け、合格した者に対して、平成29年2月24日(金)、千代田区一ツ橋の当機構竹橋オフィスにおいて、学位記伝達式を開催しました。

伝達式では、各関係者列席のもと、防衛医科大学校の三浦校長へ学位記が伝達され、福田機構長から「学位の質を保証し、国際的な通用性を担保するために、今後とも貴大学校との緊密な連携をはかりながら精進を重ねていきたい。」との挨拶により伝達式は締めくくられました。また、伝達式終了後、防衛医科大学校との懇談会が行われ、機構長、理事、研究開発部の教員との意見交換が行われました。



平成28年度学位記伝達式の様子

○901 人に学士の学位を授与　－学部相当の課程修了者－

大学の学部に対応する教育を行う課程として認定した課程の平成 29 年3月修了者から学士の学位授与の申請があり、学位審査会における審査の結果、901 人の申請者全員に学士の学位を授与しました。

＜学士の学位授与申請者数及び取得者数＞

認 定 課 程 名	専 攻 分 野	申請者数及び取得者数（人）
防衛大学校本科	理 学	37
	工 学	290
	社 会 科 学	50
	人 文 科 学	24
	計	401
防衛医科大学校医学教育部医学科	医 学	80
水産大学校本科	水 産 学	181
海上保安大学校本科	海 上 保 安	38
気象大学校大学部	理 学	15
職業能力開発総合大学校長期課程	工 学	6
国立看護大学校看護学部看護学科	看 護 学	104
職業能力開発総合大学校総合課程	生 産 技 術	76
合 計		901

○29 人に修士の学位を授与 一大学院修士課程相当の課程修了者一

平成 29 年 3 月に防衛大学校理工学研究科前期課程、同校総合安全保障研究科前期課程、水産大学校水産学研究科、国立看護大学校研究課程部看護学研究科前期課程を修了する見込みの修士の学位授与申請者に対して、社会科学、理学、看護学・保健衛生学・鍼灸学、工学・芸術工学、水産学の各専門委員会において、論文審査及び口頭試問が行われました。

この審査結果に基づき、3 月 10 日（金）開催の学位審査会において最終審査が行われ、29 人に対して学位を授与することを決定しました。

< 修士の学位取得者数 >

認 定 課 程 名	専 攻 分 野	取得者数（人）
防衛大学校理工学研究科前期課程	理 学 工 学	2 9
防衛大学校総合安全保障研究科 前期課程	安 全 保 障 学	12
水産大学校水産学研究科	水 産 学	1
国立看護大学校研究課程部 看護学研究科前期課程	看 護 学	5
合 計		29

○2 人に博士の学位を授与 一大学院博士課程相当の課程修了者一

平成 29 年 3 月に防衛大学校理工学研究科後期課程を修了する見込みの博士の学位授与申請者に対して、工学・芸術工学の専門委員会において、論文審査及び口頭試問が行われました。

この審査結果に基づき、3 月 10 日（金）開催の学位審査会において最終審査が行われ、2 人に対して学位を授与することを決定しました。

< 博士の学位取得者数 >

認 定 課 程 名	専 攻 分 野	取得者数（人）
防衛大学校理工学研究科後期課程	工 学	2
合 計		2

○卒業式典で学位記を授与

防衛医科大学校医学科卒業式典（平成 29 年 3 月 4 日（土））及び防衛大学校卒業式典（平成 29 年 3 月 19 日（日））において福田機構長より学位記の授与が行われました。

質保証連携

国内外の質保証機関等との連携

ОASEAN 大学連合 質保証国際会議 2017 に出席

平成 29 年 3 月 27 日（月）から 3 月 28 日（火）、ASEAN 大学連合（AUN：ASEAN University Network）の主催により、今後の AUN におけるさらなる質保証の発展に向けて議論を深めることを目的とした「ASEAN 大学連合 質保証国際会議 2017」が開催されました。加盟大学、準加盟大学、ASEAN 域内外の質保証機関、企業及び卒業生等のステークホルダー約 200 名が一堂に会し、AUN における質保証活動（AUN-QA）の実績を振り返りました（AUN-QA については[国際連携ウェブサイト](#)をご参照ください）。当機構は発表依頼を受け、森研究開発部教授と 2 名の国際課職員が当会議に参加しました。

第 2 回となる本会議は、「Continuous Improvement: Are We There Yet?」というテーマの下、ASEAN 質保証枠組み（AQAF：ASEAN Quality Assurance Framework）及び AUN-QA 機関別アセスメント、質保証と大学ランキング、ステークホルダーの質保証活動への参画、機関別質保証に対する期待と課題、アジア太平洋諸国における質保証の優良事例と現状、過去 10 年間の AUN-QA 活動の分析報告といった、6つのセッションで構成されました。

本会議は、全体的に、ASEAN 域内の高等教育のさらなる質向上のために平成 29 年 1 月に開始された AUN-QA 機関別アセスメントを受審することの有効性及び各大学の内部質保証の重要性や課題にフォーカスされており、6つのセッションにおいて各視点からの発表と活発な議論がなされました。また、AUN-QA 側からは、これまでのアセスメントの分析結果を踏まえ、AUN-QA 機関別アセスメントを ASEAN 域内の各国にさらに浸透させたいとの考えが示されました。

「Quality Assurance in Asia Pacific: Good Practices and Trends」と題したセッションでは、当機構と共に、マレーシア資格機構（MQA: Malaysian Qualifications Agency）及びオーストラリア高等教育質・基準機構（TEQSA: Tertiary Education Quality and Standards Agency）が登壇し、当機構からは森教授が「Quality Assurance of Higher Education in Japan: In Search of Sustainable Practices」のタイトルで日本の事例を発表しました。

今回の国際会議は、当機構においても ASEAN 地域における大学の質保証の状況について貴重な情報収集を行う機会となりました。



森教授の登壇



森教授（左）と AUN 事務局長（右）

○台湾の質保証機関 HEEACT とスタッフ交流プログラムを実施

当機構は台湾高等教育評鑑中心基金会（HEEACT: Higher Education Evaluation and Accreditation Council of Taiwan）との覚書に基づき、新たな連携活動であるスタッフ交流プログラムの第1回として、平成29年3月13日（月）から17日（金）にかけて、当機構職員3名がHEEACTを訪問しました。5日間のプログラムでは、Jong-Tsun Huang 董事長との面会をはじめ、HEEACT の事業や台湾の高等教育政策の最新動向等について充実した情報収集や、活発な意見交換を行うことができました。

Angela Yung-chi Hou 執行長からは台湾の高等教育を取り巻く最新の状況と HEEACT の事業が紹介され、Shaw-Ren Lin 質保証処長からは、機関別評価及びプログラム評価に関する説明（プロセス、評価者の選任・研修等について）があったほか、マカオ及びロシアでの国際連携評価活動、国内外の評価機関の認証（台湾教育部からの委託）、教員養成プログラムの評価、各省政策の実効性を確認するためのモニタリング活動等が紹介されました。



Huang 董事長（一番左）との記念写真



Hou 執行長（前列右から3人目）、Lin 質保証処長（前列左から3人目）ら HEEACT スタッフとの集合写真



輔仁大学での講義の様子

当機構からも、HEEACT のスタッフに対して、機構の事業及び認証評価の実務に関するプレゼンテーションを行い、各事業や評価制度の沿革や現状の課題について多くの質問を受けました。

また、輔仁大学及び国立台北芸術大学を訪問し、輔仁大学からは、厳格な内部質保証メカニズムを構築している同大学の取組の紹介がなされ、当機構からは、英語で授業を行うクラスで約20名の台湾人学生に対し、日本の高等教育の概観、質保証と学生の関係について講義を行いました。

今回のスタッフ交流プログラムは、両機関の事業や高等教育質保証を取り巻く現状について相互理解を深める貴重な機会となりました。次回は、HEEACT のスタッフを当機構に受入れ、交流プログラムを実施する計画です。

○香港の質保証機関 HKCAAVQ とスタッフ交流を実施

当機構は、香港学術及職業資歴評審局（HKCAAVQ：Hong Kong Council for Accreditation of Academic and Vocational Qualifications）との覚書に基づく新たな協力事業「スタッフ交流」を開始し、平成 29 年 3 月 20 日（月）から 24 日（金）の 5 日間、国際課職員 2 名が香港の HKCAAVQ を訪問しました。

プログラムでは、HKCAAVQ の行う評価事業について、香港の高等教育機関における通常のアクレディテーション、外国資格提供プログラムのアクレディテーション、アクレディテーション基準の改定、今後始動予定のオンラインプログラムのアクレディテーション等について説明がなされ、意見交換を行いました。

今回のプログラムでは、外国資格を提供するプログラムのアクレディテーション審査の訪問調査にもオブザーバーとして参加し、パネルメンバー間の事前打合せ、教育提供機関との面談、施設見学等の全プロセスを見学することにより、訪問調査の実際のプロセスを学ぶことができました。

また、HKCAAVQ は、評価事業のほか、外国の中等・高等教育修了資格等の審査事業を行っていますが、当該事業の担当職員より国別の情報整理に関する説明を受けたほか、実際の審査ケースを確認しながら対応フローが紹介されるなど、より実践的な情報を収集し、理解を深めることができました。

当機構からも、国際課職員より当機構の行う認証評価をテーマにした講演を行うなど、プログラムを通じて両機関の事業について相互理解を深める貴重な交流の機会となりました。今後は HKCAAVQ 職員の当機構訪問も予定されており、両機関はさらなる連携を進めていくこととしています。



当機構職員による講演参加者

○大学連携ワークショップ「内部質保証と3つのポリシー」～認証評価における優れた取組から学ぶ～を開催

平成29年3月16日（木）に大学連携ワークショップ「内部質保証と3つのポリシー」～認証評価における優れた取組から学ぶ～を、学術総合センター中会議場で開催しました。

本ワークショップは、最近の認証評価に関する省令改正などにも関連して、関心が高いと思われる内部質保証や3つのポリシーをテーマとして、大学機関別認証評価において「優れた取組」として指摘された幾つかの各大学の取組・事例を取り上げ、議論することで、大学改革に資することを目的としています。

当日は、高等教育機関において評価・質保証に係る業務に携わっている方々を中心として約80名の参加者がありました。

また、プログラム前半は、機構の岡本理事による開会挨拶、永田研究開発部主幹による趣旨説明に続き、3名のコメンテーターから、内部質保証や3つのポリシーに関する取組・事例について話題提供がありました。

コメンテーター

大阪大学 高等教育・入試研究開発センター長	川嶋 太津夫 氏
大学基準協会 常任理事／北九州市立大学長	近藤 倫明 氏
大学入試センター 研究開発部 教授	濱中 淳子 氏

話題を提供する 3氏



川嶋 太津夫 氏



近藤 倫明 氏



濱中 淳子 氏

川嶋氏からは、認証評価において「優れた取組」として指摘された明治大学、宮崎大学、山口大学の事例、近藤氏からは、同様に岩手県立大学、金沢工業大学、福井大学の事例、また、濱中氏からは、3つのポリシーのうちアドミッションポリシーに関する内容が、話題として提供されました。

さらに、プログラム後半では、機構の土屋研究開発部教授の進行のもとに、コメンテーター、話題提供にあげられた取組の実施校（6大学の関係者）及び参加者により、パネルディスカッションが行われました。

6大学の関係者の方々

明 治 大 学	千田亮吉 氏（教務担当副学長 兼 教務部長）
宮 崎 大 学	武方壮一 氏（教育・学生支援センター 准教授）
山 口 大 学	朝日孝尚 氏（大学教育センター長）
岩手県立大学	藤根卓也 氏（企画室企画広報グループ 主事）
金沢工業大学	三上明義 氏（教育点検評価部長）
福 井 大 学	安田年博 氏（副学長(IR 担当)）



6大学の関係者の皆様

パネルディスカッションは、プログラム前半でコメンテーターから提供された話題を受け、取組の実施校からの補足説明や事前に会場から回収した質問票への回答に関連づけながら進められました。会場からは「評価におけるタイムラグ問題」、「カリキュラム改正と認証評価を実施する時期」、「JABEE への取組」、「アドミッションポリシー」に関する意見も寄せられて、活発なディスカッションが展開されました。

なお、当日の配布資料及び参加者アンケートの集計結果等については、[こちらから](#)ご覧になれます。



ワークショップ会場の様子

評価事業

■大学機関別認証評価について

○平成 28 年度実施大学機関別認証評価の評価結果について

当機構では、平成 28 年度に実施した大学機関別認証評価の評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該対象大学及びその設置者へ通知するとともに、文部科学大臣に報告しました。

今回、認証評価を実施したすべての大学が、大学設置基準をはじめ関係法令に適合し、当機構の定める大学評価基準を満たしているとの評価結果となりました。

なお、対象大学ごとの評価結果については、全体を通じての概要等を加え「[平成 28 年度大学機関別認証評価実施結果報告](#)」として当機構のウェブサイトに掲載するなど、広く社会に公表しています。

<対象大学>

【国立大学】

- | | | |
|--------|------------|--------|
| ・ 埼玉大学 | ・ お茶の水女子大学 | ・ 広島大学 |
|--------|------------|--------|

【公立大学】

- | | | |
|----------|----------|--------------|
| ・ 秋田県立大学 | ・ 前橋工科大学 | ・ 首都大学東京 |
| ・ 富山県立大学 | ・ 石川県立大学 | ・ 静岡文化芸術大学 |
| ・ 京都府立大学 | ・ 大阪府立大学 | ・ 兵庫県立大学 |
| ・ 岡山県立大学 | ・ 福山市立大学 | ・ 九州歯科大学 |
| ・ 福岡県立大学 | ・ 福岡女子大学 | ・ 大分県立看護科学大学 |

○平成 28 年度実施大学機関別選択評価の評価結果について

当機構では、平成 28 年度に実施した大学機関別選択評価の評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該対象大学及びその設置者へ通知しました。

今回、選択評価を実施した大学の評価結果は、次のとおりとなりました。

<評価結果>

○選択評価事項A「研究活動の状況」（3大学）

【公立大学】

- | | |
|--------------|-------------------|
| ・ 大阪府立大学 | 目的の達成状況が極めて良好である |
| ・ 福山市立大学 | 目的の達成状況がおおむね良好である |
| ・ 大分県立看護科学大学 | 目的の達成状況がおおむね良好である |

○選択評価事項B「地域貢献活動の状況」（7大学）

【国立大学】

- ・埼玉大学 目的の達成状況が良好である

【公立大学】

- ・大阪府立大学 目的の達成状況が極めて良好である
- ・前橋工科大学 目的の達成状況が良好である
- ・京都府立大学 目的の達成状況が良好である
- ・福山市立大学 目的の達成状況が良好である
- ・九州歯科大学 目的の達成状況が極めて良好である
- ・大分県立看護科学大学 目的の達成状況が良好である

○選択評価事項C「教育の国際化の状況」（1大学）

【私立大学】

- ・桜美林大学 目的の達成状況が極めて良好である

※評価結果の表記について

評価結果	判断の際の考え方
目的の達成状況が極めて良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が非常に優れており、目的に照らして全体の達成状況が極めて良好であると判断される場合
目的の達成状況が良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が優れており、目的に照らして全体の達成状況が良好であると判断される場合
目的の達成状況がおおむね良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に改善すべきところはあるが、目的に照らして全体の達成状況がおおむね良好であると判断される場合
目的の達成状況が不十分である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に問題があり、目的に照らして全体の達成状況が不十分であると判断される場合

なお、対象大学ごとの評価結果については、全体を通じての概要等を加え「[平成 28 年度大学機関別選択評価実施結果報告](#)」として当機構のウェブサイトに掲載するなど、広く社会に公表しています。

■高等専門学校機関別認証評価について

○平成 28 年度実施高等専門学校機関別認証評価の評価結果について

当機構では、平成 28 年度に実施した高等専門学校機関別認証評価の評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該対象高等専門学校及びその設置者へ通知するとともに、文部科学大臣に報告しました。

今回、認証評価を実施したすべての高等専門学校が、当機構の定める高等専門学校機関別認証評価基準を満たしているとの評価結果となりました。

なお、対象高等専門学校ごとの評価結果については、全体を通じての概要等を加え「[平成 28 年度高等専門学校機関別認証評価実施結果報告](#)」として当機構のウェブサイトに掲載するなど、広く社会に公表しています。

＜対象高等専門学校＞

【国立高等専門学校】

- ・ 仙台高等専門学校
- ・ 富山高等専門学校
- ・ 香川高等専門学校
- ・ 熊本高等専門学校

○平成 28 年度実施選択的評価事項に係る評価の評価結果について

当機構では、平成 28 年度に実施した選択的評価事項に係る評価の評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該対象高等専門学校及びその設置者へ提供しました。

選択的評価事項に係る評価は、認証評価を実施した高等専門学校のうち、希望のあった高等専門学校について実施し、当該事項に関わる対象高等専門学校の有する目的の達成状況について評価しました。

＜評価結果＞

○選択的評価事項A「研究活動の状況」（4 高等専門学校）

【国立高等専門学校】

- | | |
|------------|---------------|
| ・ 仙台高等専門学校 | 目的の達成状況が良好である |
| ・ 富山高等専門学校 | 目的の達成状況が良好である |
| ・ 香川高等専門学校 | 目的の達成状況が良好である |
| ・ 熊本高等専門学校 | 目的の達成状況が良好である |

○選択的評価事項B「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」（4 高等専門学校）

【国立高等専門学校】

- | | |
|------------|---------------|
| ・ 仙台高等専門学校 | 目的の達成状況が良好である |
| ・ 富山高等専門学校 | 目的の達成状況が良好である |
| ・ 香川高等専門学校 | 目的の達成状況が良好である |
| ・ 熊本高等専門学校 | 目的の達成状況が良好である |

※評価結果の表記について

評 価 結 果	判 断 の 際 の 考 え 方
目的の達成状況が非常に優れている	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が非常に優れており、目的に照らして全体の達成状況が非常に優れていると判断される場合
目的の達成状況が良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が優れており、目的に照らして全体の達成状況が良好であると判断される場合
目的の達成状況がおおむね良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に改善すべきところはあるが、目的に照らして全体の達成状況がおおむね良好であると判断される場合
目的の達成状況が不十分である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に問題があり、目的に照らして全体の達成状況が不十分であると判断される場合

なお、対象高等専門学校ごとの評価結果については、全体を通じての概要等を加え「[平成 28 年度選択的評価事項に係る評価実施結果報告](#)」として当機構のウェブサイトに掲載するなど、広く社会に公表しています。

機構の窓

■ 会議の開催状況

○学位審査会

- ・第5回 平成29年3月10日（金） 15:00～16:30

議事

- 1 認定課程修了者に係る学士の学位授与の審査の結果について
- 2 認定課程修了見込者に係る修士の学位授与の審査の結果について
- 3 認定課程修了見込者に係る博士の学位授与の審査の結果について
 - （1）平成28年9月修了者
 - （2）平成29年3月修了見込み者
- 4 その他

○大学機関別認証評価委員会

- ・第4回 平成29年3月8日（水）

議事

- 1 評価結果について
- 2 専門委員の選考について（平成29年度実施分）
- 3 大学機関別認証評価実施大綱（平成30年度実施分）等について
- 4 大学機関別認証評価に係る3巡目の評価基準等の検討について
- 5 その他

○高等専門学校機関別認証評価委員会

- ・第4回 平成29年3月13日（月）

議事

- 1 平成28年度高等専門学校機関別認証評価に係る評価結果について
- 2 平成29年度高等専門学校機関別認証評価に係る専門委員の選考について
- 3 自己評価実施要項（平成30年度実施分）等について
- 4 その他

○法科大学院認証評価委員会

・第3回 平成29年3月6日（月）

議事

- 1 「教育課程、教員組織その他法科大学院の教育活動全般に係る重要な変更又は状況の変化」及び「対応状況報告書」の調査結果に対する評価結果への付記事項（案）に対する意見について
- 2 重点基準を満たさないおそれがある事項（案）に対する意見について
- 3 専門委員の選考について
- 4 平成29年度に実施する法科大学院評価基準要綱の改定案に関する意見について
- 5 平成30年度以降に実施する法科大学院評価基準の改定について
- 6 その他

主要行事日程

○ Schedule

4月

日	行事名	担当課
1日～7日	平成 29 年度 4 月期学位授与郵送申請受付期間	学位審査課
24日	平成 29 年度認証評価機関連絡協議会評価担当職員研修	評価企画課

5月

日	行事名	担当課
12日	学位審査会（平成 29 年度第 1 回）	学位審査課

6月

日	行事名	担当課
4日	大学改革支援・学位授与機構試験（東京・大阪）	学位審査課

